

## 令和5年度第1回行方市総合教育会議

○開催日時 令和5年6月26日(月) 午前10時25分～午後0時23分

○開催場所 行方市役所 北浦庁舎2階 第2会議室

○出席委員

行方市長	鈴木 周也
教育長	横田 英一
教育長職務代理者	滝 恵美子
委員	大崎 あい子
委員	明石 延之
委員	久米 雅文

○事務局出席者

教育部長	金田 久美子
学校教育課長	高柳 雅彦
生涯学習課長	宮内 敏
学校教育課指導室長	大崎 雅之
生涯学習課参事	齋藤 俊
スポーツ推進室長	高田 和明
学校教育課課長補佐	内田 恵子

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 付議案件

(1) 幼稚園、保育園等の通園費補助について

(2) 国際教育の推進について

(3) その他

・行方市の歴史文化資料の保存活用について(報告)

・大日塚古墳埴輪について(報告)

- ・行方市いじめの現状と課題について(報告)
- ・行方市不登校の現状について(報告)
- ・行方市立中学校制服のあり方に関する検討委員会について(報告)
- ・行方市スクールロイヤーについて(報告)

4 その他

5 閉 会

## ○議 事 録

### 1 開 会

金田部長から開会の宣言がなされました。

### 2 あいさつ

鈴木市長からあいさつがありました。

横田教育長からあいさつがありました。

### 3 付議案件

議事録署名委員に大崎委員を指名しました。

#### (1) 幼稚園，保育園等の通園費補助について

発 言 者	発 言 内 容
大崎委員	送迎バスを利用をしたくても家庭の事情があって利用できないというのは、どうかたちで通園しているのでしょうか。
石川課長	朝の預かり保育や夕方の預かり保育で園に預かっていただくという方法がありまして、保護者の方が車で園に送って利用しているということになります。
大崎委員	預かり保育の場合には、費用はかかるのでしょうか。 園によって差はありますが、1時間当たり50円から100円の延長保育代となっています。
高柳課長	幼稚園のほうでも有料となりますが預かり保育をやっており、やはり同じような理由となっています。
柏原部長	保育園の補助については、全体的に考えていきたいと思っています。
大崎委員	小中学生のスクールバス利用料の減免は何か根拠があったのでしょうか。
鈴木市長	無料との話もありましたが、バスを使っている以上は費用負担をしていただきたいところなんです。学校のバス利用者はおそらく8割を超えますのでカバー率は高くなっています。幼稚園，保育園についてはカバー率の問題がそれぞれ違い、通園の形態がバラバラですので、やり方を変えるしかないかと考えます。子ども子育て会議の中で通園の費用負担を軽くさせる方法を考えていただいて、通園のところの負担感を軽くさせるという施策をうてればと思います。子ども子育て会議の中で、教育委員会からこのような負担があるというのを提案していただくのがベストかと思っています。教育委員会からの情報提供として出してもらえると、市全体の施策として作り上げやすく、そちらのほうが形としてはオールカバーになる可能性が高いので、そのようにしていただくとありがたいと思います。
横田教育長	今後子育てを行っている部局と教育委員会との連携は今後ますます重要になってくると思います。壁を作った行政ではなく、連携を図った子育て支援を進めていける

	ようにしていただければと思います。
--	-------------------

(2) 国際教育の推進について

発 言 者	発 言 内 容
滝委員	行方市教育委員会では国際理解教育に積極的に取り組み、特に教育長はじめ事務局の方が取り組んで、とてもいい方向に進んでいると思います。できれば、市の目標を資格は取らなくても中学校で英検3級程度の力、それから高校に行ったら英検2級程度の力をつけてやるということを目標にしてやっていくことがいいと思います。
大崎室長	本年度も英語の教育に重点を置き、スペシャリストの教員を麻生中に配置させていただいて、習熟度別学習を進めるといった活動も行っています。また、ハートコーポレーションと連携し、オールイングリッシュで授業の中で会話ができるような取り組みを現在推進しているところです。
滝委員	中学生海外派遣については、お金の面で難しいところがあるかもしれませんが、制度としてはあってもいいのかなと思います。
大崎委員	私も同じように海外派遣事業はとても素晴らしいと思います。分析において、自由記述の中では、異文化に触れて、コミュニケーションをとって、日本の良さに気が付いたということで、これが一番の本来の目的ではないかと思います。やることには賛成で、お金が課題ということであれば、分割してということもあるのかなと考えました。
明石委員	教育は確かに今、お金がかかる時代になってしまっています。けれど、将来どういう風に社会の発展を、それから地域の安定を図るかという意味で広く考えていただければと思います。
高柳課長	お金の面も一番のハードルですが、教育委員会では工夫して進めていきたいと思っています。
鈴木市長	かけるべきところにはかけなければならないと思っています。今日本は労働力で負けています。ですから我々は行政としてはきちんとその部分のことをやらせないで、ますます遅れるだろうということです。ひとつは、海外に行くという経験は普通できないので、中学生海外派遣は残したいということがあります。二つ目は、イングリッシュキャンプを入れられるような施策をやっていったほうがいいのかなと感じています。負担金を20万円まで上げるというのは、これはやはり応分の負担ですから、支払い方も悪いというのがあれば、何回かに分けるというのも手ですし、私はいいと思っています。
大崎室長	ひとつ確認したいのですが、オーストラリアの小学校とのオンライン交流では、1日まるまるつなぎっぱなしという場所をセッティングすることは考えられていませんか。
鈴木市長	実際のところ計画の段階で何時から何時までということでの制限がある中でやらせていただいたので、その発想は全くありませんでした。
鈴木市長	普段使いができるという感覚で、勉強だと思っから嫌になるんです。1回それをチ

大崎室長	<p>チャレンジしていただけないかという要望です。</p> <p>もし日常的に対面できる機会があれば、当然英語が日常の中に入り込むので、子どもたちが自然の中でオールイングリッシュの対応ができることが考えられます。ぜひこちらのほうで検討させていただきたいと思います。</p>
------	--

(3) その他

- ・行方市の歴史文化資料の保存活用について(報告)
- ・大日塚古墳埴輪について(報告)

発 言 者	発 言 内 容
明石委員	古文書関係をデジタル化し、ホームページに載せていただければと思います。現物と現代文になおしたものを併記しておくことで、そういうところの興味、関心につながっていく子が育てばいいと思います。
宮内課長	個々の古文書につきましては、各家庭のいろいろな事情等が含まれています。出せないものもありますので、古文書のデジタル化につきましては専門の方と協議しながら調整していきたいと思います。
鈴木市長	<p>デジタル化については、予算を考えていかなければならないかと思っています。それを残すことによって恒久的にデータが残っていきますので、その予算はちょっと考えたいと思います。また、歴史的文化資料については、どこかのタイミングでは旧町のをまとめる作業をせざるを得ないのではないかと思います。</p> <p>大日塚古墳については、大日塚ってどこにあるのというときに、その説明がなければ、興味がない人は全く興味がなくなってしまいます。どこにどういう形であったのかなど、そういったところを付け加えていただけると、興味を見つけてくれるのかなと思います。</p>

- ・行方市いじめの現状と課題について(報告)
- ・行方市不登校の現状について(報告)
- ・行方市立中学校制服のあり方に関する検討委員会について(報告)
- ・行方市スクールロイヤーについて(報告)

発 言 者	発 言 内 容
滝委員	スクールロイヤーから子どもたちに直接教えていただきたいと思うのが、闇バイトとかフィッシングサイトとか、その時代時代で子どもたちが引っかかりそうな問題がたくさん出てきますが、こういう怖さを今から外に出ていく子どもたちに、よく教えてあげる必要があると思います。
大崎室長	SNSとかインターネットを介したいじめ、特に金銭や身体や財産に重大な損害を与えるような、そういったことにならないようにするために、実際的な事例を視覚化していただいて、子どもたちに訴えていただいて、そして対話型を取り入れていただいて、子どもたちの考えを引き出しながら、いじめの未然防止の教室を実施していただく予定になっています。

横田教育長	今は学校だけで解決できないような問題もありますので、裏付けとなるような法務相談とかそういうものを位置付けるということになります。
鈴木市長	不登校の状況ですが、昨年度に増えていますが、これはコロナの影響によりコミュニケーションの場が減っているために、特にこの無気力、不安というところが非常に増えているというのは、その分析として現場はどう捉えていますか。
大崎室長	やはり実質的なリアルな体験や経験が不足しているということが挙げられます。それにより、集団生活への不安、集団での学習への不安、そういったものが大きく増長されているというように捉えています。ですから、総合的、一体的にこういった組織的に支援を行っていく必要性を十分に感じているところです。
鈴木市長	スクールロイヤーですが、よく子どもたちについて言うのですが、実は子どもたちではなく、親御さんに対してだと私は思います。親御さんにいかにこの部分がどう伝わるかだと思っていてまして、意外とそのへんが抜けてしまっているかなというのが私の感覚です。賠償を誰がやるんだというときに、本人は資力がないので、親御さんに全部いくんですね。そういう実態をどこかのタイミングで、スクールロイヤーを経由してでも言っていただきたいというのがあります。

#### 4 その他

(市長から、北浦三和地区のコウノトリ生息について報告)

#### 5 閉会

金田部長から閉会の宣言がなされました。